



食事の前には、童謡などをみんなで合唱しました。二手に分かれての輪唱もうまくできました

太田義夫さん。温かい目で地域のことを話してくれました



福祉ネットワークの拠点として

福祉のまち推進センターは地域に住む人たちが互いに支え合う環境づくりを進めるため開設されました。区内には連合町内会を単位として六地区に設置されています。地域の民生委員・児童委員、町内会、老人クラブ、ボランティアグループなどが参加して、それぞれの地域の実情に合った

活動をしています。活動の主な対象は、お年寄りや障害のある方、子育て中の家庭などです。電話や訪問による安否確認、ごみ出しなどの家事の援助や外出の付き添い、食事会などの交流行事のほか、ボランティア研修や広報活動を行っています。

支え合える地域づくり

厚別東地区福祉のまち推進

センターでは、地域のふれあいを大切に考え、さまざまな取り組みをしています。日常生活の支援や相談のほか、センターを開放した「ふれあいサロン」は、地域の人たちが気軽に立ち寄り、おしゃべりや仲間づくりができる場として、年間三百人以上の利用があります。

また、地域の人たちや子どもとお年寄りの交流行事も盛んに行われています。三月八日には、小野幌会館で「ふれあい会食会」が開かれ、一人暮らしのお年寄りや地域の人たち、民生委員・児童委員約六十人が参加しました。みんなとおしゃべりしながらの食事は、とてもにぎやか。あちこちのテーブルで笑い声が上がります。食事の後には、身近にあったことや交通安全などのこぼれ話と手品が披露されました。軽妙な話術や手品に、感心したり笑ったり。最後にビンゴゲームが行われ、当たった景品を互いに見せ合っていました。ボランティアや近所に住む人たちと一緒に楽しい時間を過ごし、次に会うときにも話が弾むことでし



ボランティアの人たちが育てた花にカードを添えて、一人暮らしのお年寄りの誕生日にプレゼントをしました(厚別南地区)

よう。

運営委員長の太田義夫さんは、「交流行事などで親しくなった人たちは、住む町内が違っても連絡を取り合ったりしているようです。会食会などで顔を合わせることで、あいさつや立ち話などの日ごろの付き合いが始まり、気軽に頼んだり頼まれたりする関係ができていくと思います」と話します。

活動には、特別な技術は必要ありませんが、ボランティアの基本的な知識を学ぶため、ボランティアスクールも開催

厚別東地区

厚別東4条4丁目9-3

小野幌会館内

☎ 898-2805

相談日 毎週月・水・金曜日

午前10時～午後3時

ふれあいサロン

毎週月～金曜日

午前10時～正午

午後1時～3時

お茶、コーヒーなどを用意しています。詳しくは福祉のまち推進センターまで。